# 「ドキュメンタリー制作を通じたJET 経験者との縁」その①

映像ジャーナリスト　榎原　美樹

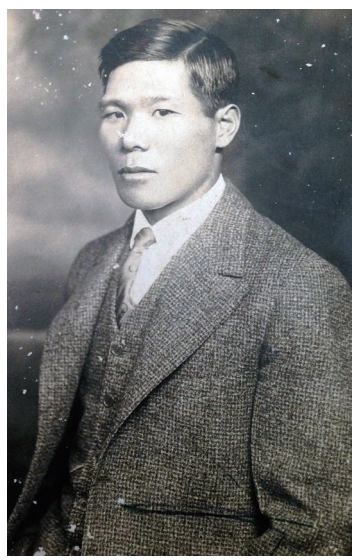
私は過去に制作した番組の中で偶然にも主人公が JET（語学指導等を行う外国青年招致事業）経験者だったことが複数回あります。そのご縁について２回に分けてご紹介します。

**祖父のルーツを探したい**

2018 年、レジーナ・ブーンさんという米国人写真家から、「自分は黒人だと思って育ったが、父方の祖父が日本人だった。祖父の故郷を探したい」という相談が舞い込みました。彼女の父は黒人ジャーナリストとして有名なレイモンド・ブーン氏。４年前に病床で「自分の父親は日本人だった」と初めて公表し、娘に「日本に行ってルーツを探しなさい」と言い残して亡くなりました。

**戦争が変えたアメリカンドリームの人生**

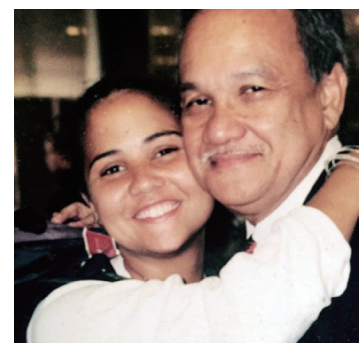
彼女の調査によると、祖父は宮崎鶴寿（つるじゅ）、1897 年長崎生まれ、24 歳で米国へ上陸して食堂を開き、黒人女性との間に２人の息子を授かります。しかし1941 年の真珠湾攻撃の直後「敵性外国人」として警察に逮捕され、二度と家族のもとに戻れませんでした。こうした情報と、レジーナさんが持っていた唯一の宮崎の写真を NHK ニュースで放送したところ、「親戚ではないか」と、長崎県南島原市の家族が名乗りをあげ、私たちはご家庭に急行しました。驚いたことにその家の仏壇に同じ写真が飾られていて、レジーナさんと親戚の涙の対面が実現しました。その後の調査で、宮崎は日系人収容所から出た直後に結核で倒れ、家族の元に戻れなかった理由も判明しました。レイモンド氏は当時５歳。日本人だった父親が行方不明となった過去を周囲に隠し、ジャーナリストとして自由で平等な米国社会をめざす運動に身を捧げた一生でした。番組は 2020 年に放送されました。



レジーナさんの祖父、宮崎鶴寿。この写真がアメリカ、日本双方に残っていた

**JET はルーツの扉を開いた存在**

ところでレジーナさんはこうした歴史について何も知らなかった 20 代の時、1992 年から３年間、大阪で JET 参加者として活動しました。なぜ JET プログラムに応募したのでしょうか？ 実は幼い頃、「なぜ私にはおじいさんがいないの？」と何度も尋ねたため、父は一度だけ「君のおじいさんは日本人だったんだ」と苦しげに呟いたそうです。彼女はこの一言が忘れられず、日本という国を知りたいと切望して応募し、日本を大好きになって帰国しました。JET はレジーナさんにとって、未だ知られざるルーツの扉を開けてくれた存在だったのです。



JET 終了後、帰国直後のレジーナさんと生前の父親レイモンド・ブーン氏

＜この番組は“A Vanished Dream”NHK World で検索すると英語版が視聴できます。＞

**プロフィール**

榎原　美樹（えばら　みき）
1987 年 NHK 入局。特派員として活動した他、「ニュース 10」などのキャスターも務めた。
2023 年退職以降、フリーとして活動。